

( 関わり合い 認め合い 高め合う 六葛西の子 )

平成23年5月 9日 (月)  
No. 7  
江戸川区立第六葛西小学校  
校長 伊藤辰久

江戸川区西葛西4-5-1 電話(3688)0485・Fax(3688)0510  
メールアドレス: kasai6s@EDOGAWAKU.ed.jp

## 読書の好きな子に

### 『読み聞かせ』活動が開始されました

4月27日(火)、「読み聞かせボランティアの交流会(発足会)」が開かれました。当日までのボランティア登録者は、100名、その後も申し出ていただける方が増え続けています。

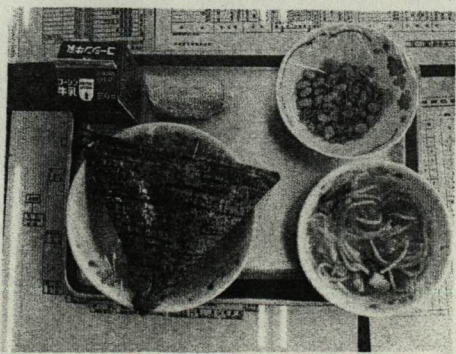
交流会では、学年やクラスのリーダーを決め、今後の進め方を相談しました。全クラスで「読み聞かせ」活動が実施できる準備が整いました。お子さんのいるクラスでの「読み聞かせ」です。8時25分から8時40分までの時間帯です。どなたでも参加できる活動です。1回だけでも結構です。ぜひご参加ください。担任まで連絡してください。

### 図書整備ボランティアにご参加ください

図書館整備の『ろくっこぶっくま』の活動も毎週木曜日の10時30分から始まっています。これで本校の『読書活動学校応援団』の活動が本格的に始まることになります。

図書室にはいってみると気がつくと思いますが、縫いぐるみが本棚の中にあったり、楽しい手作りの絵や模様がいたり、本棚が図書館のように並んでいたりで楽しそうな雰囲気がよく出ています。子どもたちもそんな環境の中で楽しそうに本を読んだり調べ学習をしたりしています。学校においてになった折りにのぞいてみてください。

「こどもの日」をお祝いして、2日の給食は、「中華ちまき」が出ました。調理師さんが竹の皮に一つ一つ巻いてくれました。



### 図書整備ボランティア活動見学会

図書整備「ろくっこぶっくま」の活動見学会を行います。どなたでも参加できます。実際の活動ぶりを見てください。

□5月19日(木)

□5月26日(木)

10時30分～ 図書室にて

## 給食費・教材費などの引き落としが 11日から始まります

昨年に引き続き、給食費やPTA会費・教材費などの諸経費の銀行口座からの引き落としが5月から始まります。年間の引き落とし計画については、各学年よりお知らせしております。5月分は、5月11日に銀行口座より徴収させていただきます。引き落とし額に満たない場合は、未納になってしまいますのでご注意ください。

つきましては、残高をご確認の上、未納になりませんようよろしくお願いいたします。

5月11日には

給食費(昨年と同額) 5月は、4・5月分が引き落とされます 1・2年生: 4860円 3・4年生: 5320円 5・6年生: 5840円	+	引き落とし手数料 年間: 525円 5月に引き落とされます	+	教材費など 各学年でお知らせした金額	=	5 し月 分の 引 金 額
--	---	-------------------------------------	---	-----------------------	---	------------------------------

が、銀行口座より徴収されます。引き落とし日の午前中に引き落とされますので、前日までに

ご確認ください。

### 引き落とし日

6月13日、7月11日、8月11日(予備日)、9月12日、10月11日、11月11日、12月12日、1月11日、2月13日(3月分も引き落とされます)、3月12日(予備日)

## サマーキャンプ実行委員会が発足しました

今年のサマーキャンプ実行委員会が発足しました。今回の実行委員長は、秋山PTA会長です。4月29日(金)に、六雄会の役員を中心に実行委員を希望したお父さんが集まり、サマーキャンプの大枠の計画を決め、準備に入りました。

サマーキャンプの開催日は、7月16日(土)・17日(日)です。募集要項など、キャンプの詳細については、今後実行委員会よりお知らせがありますのでよろしくお願いいたします。今年のテーマは、『助け合い、思いやる気持ちを持って楽しめるサマーキャンプ』となりました。これは、3月の東日本大震災に思いを馳せ、サマーキャンプを通じても支援できることを考えようと、このテーマになりました。

次回の実行委員会は、5月22日(日) 9時30分からです。

### がんばりました

□オールスター城東ブロック春季大会

準優勝: 石神 航平君(5年)

□少年野球江戸川大会

マグドナルドトーナメント

準優勝: 須永 郁弥君(6年)

「上がった、九段!!」  
身体中に電流が走るような、熱い、熱い思い。「いったい私のどこに、こんな思いがかくされていたのだろう。」と思っ  
てしまうほど、熱い気持ちが一気にこみ上げてくるのを感じ  
た。

このしゅん間にたどり着くまでの道のりは、とにかく長く、  
大変なものだった。初めてのピラミッド練習、「何で上がら  
ないの?」と、自分自身腹立たしく感じてしまうほど、すぐ  
にくずれ、そのくり返し。私はそこまで体は大きくないが、  
下から三段目。友達が上へ上がり、重みが増すたびに、歯を  
くいしばってたえた。何度も練習はくり返されたが、そのた  
びに、「ドドドッ」という音と共にくずれた。私の中にある、  
「やればできる!」という心の支えも、少しずつ音を立てて  
くずれていくのを感じた。

そして何より、私の前に一番大きく立ち上がったものは、  
「百十九人みんなの心が一つにならない」というかべだった。  
ピラミッドが上がる最中も、どこからか必ず余計な声が聞こ  
え、まとまりのなさを感じた。だれか一人でも気持ちが欠け  
ていたら、成功はあり得ない。本番一週間前を切っても上が  
る気配は見えず、あせりと不安で、私の心はくじけるすん前  
にまでなっていた。けれど、ここで私がくじけてしまったら、  
みんなの心が一つになれるはずがない。この時私は、「絶対  
最後まであきらめない。自分を信じ、仲間を信じ、必ず上げ  
るんだ!」と、心に固くちかかった。みんなも私と同じように、  
心にちかかっていることを信じながら。

# 『あしぶえ』掲載作文紹介

江戸川区教育委員会発行児童作文集

江戸川区に「あしぶえ」という児童作文集があるのをご存知ですか。  
昭和24年に第1号が発行されて以来毎年発行されている江戸川区  
教育委員会発行の児童作文集です。今年で第64号の発行になりまし  
た。その文集に掲載されている本校児童の作文を紹介します。

作文は、昨年度書かれ、二十三年度版として発  
行されるため、学年は一つ下になっています。  
本文で六年生とあるのは、現在の中学一年生で  
す。他にも掲載作文はありますので、随時紹介  
します。

浅野教育長の紹介文が『あしぶえ』の性格、歴史を  
分かりやすく述べていますので紹介します。

## 「あしぶえ」によせて

江戸川区教育委員会教育長 浅野 潤 一

文集「あしぶえ64号」ができましたので、みなさんのお手元にお届け  
します。どの作品も、みなさんが見たり、聞いたり、心を動かしたりしたこ  
とが、自分なりの言葉で書かれ、すばらしい作品ばかりでした。みなさん  
のふだんの学習のようすがよくわかり、うれしく思います。

ガリ版ずりの「あしぶえ」創刊号が世に出てから、六十年になります。  
その頃と比べると、江戸川区のようすも、人々の生活も大きく変わりました  
が、「表現したい」という気持ちには変わりありません。このような人  
々の変わることはない気持ちによって、「あしぶえ」は発行され続け、今  
日にいたっています。

これまでの「あしぶえ」が、多くの人々の心に感動を届けてきたように、  
この「あしぶえ」もみなさんを、大いに感動させることでしょう。  
ものごとをしっかりと見つけ、感じたことや考えたことを、自分の言葉で  
人に伝える力(表現力)を身に付けていくことは大切なことです。  
表現力をつけるためには、他の人の作文や本などの優れた表現から学び、  
自分でも書いてみる、しかも書き続けることが大切です。こういう努  
力を続ければ、あなたにもきっと良い作文が書けることでしょう。

最後に、この「あしぶえ」を発行するためにご苦労いただきました先生方  
「作文を読んで」に執筆いただきました国語部の先生方に、厚くお礼申  
上げます。ありがとうございました。

子供たちの体力向上を目的に、全学年の『体力テ  
スト』が始まりました。写真は、「ソフトボール  
投げ」「シャトルラン」の様子です。



ついに本番、運動会当日がやってきた。心を落ち着かせ、  
曲が始まるのを静かに待った。組体操は成功。残すはピラミ  
ッドを上げるだけになった。自分の心臓の音が、友達に聞こ  
えてしまうのではないかと思うほど、きん張でいっぱいだっ  
たが、「絶対みんなで上げる!」この一心でがん張った。一  
段目、二段目、みんなが次々に組み始めていく。そして、私  
の番、三段目。きん張がピークに達したが、深呼吸。みんな  
がどんどん上がっていく。心の中で、見ることでできない上  
の段の友達と、一つのきずなでつながっていくのを自然と感  
じた。

「上がった、九段!!」

ついにやってきた、この瞬間。私たちだからこそのわかる、最  
高の喜び。言葉では、とても言い表すことなんてできない。  
百十九人ピラミッド成功。積み上げたものは、九段という  
高さだけでは終わらない、「自分と仲間を信じる気持ち」だ  
った。私はこのピラミッドで積み上げたものを心に刻み、こ  
れから先も努力を重ねていきたい。